

歴史のまち、羽曳野 7 かわち げん し 河内源氏の里

武士の登場

いまからおよそ1,000年ほど前、都の京都では、摂政・関白として実権を握る藤原氏を中心に、貴族たちによる政治が行われていました。この頃、皇族や貴族の身と財産を守り、時には武力をもって紛争の解決にあたった武士たちが、しだいに都や地方でその地位を固めていきました。

有力な武家の一つである清和源氏の一人、源頼信は藤原道長に仕えるとともに、地方の役人を務めました。長元元(1028)年に関東地方で起こった平忠常の乱を鎮圧すると、武家の棟梁としての武名は一挙に高まり、永承元(1046)年頃には、河内守になっていました。その頼信が本拠地としたのが、石川のほとり、なだらかな丘が連なる壺井里(羽曳野市壺井・通法寺)でした。このことから、頼信の子孫は河内源氏と呼ばれることとなります。壺井の香呂峯に建てたという頼信の館には、よろいかぶとに身を固めた武士たちがしきりに出入りしていたことでしょう。

頼信の家督を継いだ頼義も、平忠常の乱や永承6(1051)年に東北地方で起こった前九年の役で武功をたて、河内源氏の勢力をさらに大きなものにしました。

壺井八幡宮と通法寺

江戸時代の記録などによれば、長久4(1043)年、頼義が狩りの



際に得た千手観音像を本尊として建てた仏堂が、その氏寺となる通法寺の始まりとされています。また、前九年の役の出陣に際して、八幡神に武運を祈った頼義が、康平7(1064)年に戦勝を感謝して建立したのが、壺井八幡宮とされています。河内源氏の本拠地である壺井は、武士たちの心の拠り所にもなっていたのです。

河内源氏の三代目義家は、石清水八幡宮で元服して「八幡太郎」と名乗りました。やがて父の頼義に従って参戦した前九年の役や、永保3(1083)年に東北地方で起こった後三年の役などでの徹底した戦いぶりで、「天下第一の武勇の士」と称されるまでになりました。しかし、義家の死後、河内源氏の繁栄も長くは続かず、一族の内紛や敗戦で没落し、平清盛やその一門である平氏にその座を明け渡すこととなります。

通法寺境内とその南の丘の上にある墓に、河内源氏三代、頼信、頼義、義家が眠っています。河内源氏の一族からは、のちに鎌倉幕府を開いた源頼朝や、数多くの武家の名族が出ています。700年近くも続く、武士が政治を行う時代のはじまりに、壺井、通法寺の地は大きな役割を果たしたのです。今、その歴史の舞台には、戦乱の時代が夢であったかのような、おだやかな風景が広がっています。

(世界遺産登録準備室)

はびきの健康フォーラム

主催：羽曳野市、府立呼吸器・アレルギー医療センター、大阪府立大学
 協賛：羽曳野市老人クラブ連合会
 後援：羽曳野市医師会、羽曳野市歯科医師会、羽曳野市薬剤師会、
 大阪府藤井寺保健所、大阪府国民健康保険連合会

健康な生活を送るうえで知っていただきたいことを、最新の医療情報や研究成果をもとにお伝えします。講演会と体験・相談コーナーを用意していますので、ぜひご参加ください。

とき：平成22年2月14日(日) ところ：LICはびきの(ホールM、アトリウム)

講演会 要予約

会場：ホールM 午後2時～4時(予定)

- (1) 新型インフルエンザを正しく知ろう
 「新型インフルエンザと小児の肺炎」
 ≪講師≫大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
 小児科医長 吉田 之範氏
- (2) 健康寿命を伸ばそう
 「いつまでも健康な脳を保つ秘訣」
 ≪講師≫大阪府立大学 看護学部教授
 中村 裕美子氏

入場無料

体験・相談コーナー

会場：アトリウム 午前11時～午後2時

脳の活性化につながる身体トレーニングや脳のお元気度チェック、血行測定、健康の大敵「たばこ」をやめるための禁煙相談も予定しています。(詳しくは2月号広報をご覧ください)

◆申し込み方法◆

電話、ファクス、はがき(または封書)、Eメールにてお申し込みください。電話以外の場合は、①氏名、②住所、③連絡先、④参加希望人数をご記入ください。(定員500人、1月12日から受付開始、申し込み締切2月10日)

≪問い合わせ・申し込み≫

〒583-0857 羽曳野市嘗田4-2-3 羽曳野市立保健センター 健康増進課

電話/956-1000 FAX/956-1011 Eメール/hokencenter@city.habikino.osaka.jp